

平成 28 年度 湖南省立図書館第 2 回図書館協議会 会議記録

- 開催日時 平成 28 年 9 月 25 日(土)午後 2 時 00 分～4 時 30 分
- 開催場所 湖南省立甲西図書館 2 階 集会室
- 出席者 図書館協議会委員 8 人(欠席者 2 人)、教育部長、事務局図書館長他 3 人
- 傍聴人 3 人
- 議 事
  1. 平成 27 年度 図書館評価の実績報告について
  2. 平成 28 年度 図書館評価の取組内容について
  3. その他

■開会

事務局	定刻になりましたので、平成 28 年度第 2 回の湖南省立図書館協議会を開催させていただきます。開会にあたり教育部長があいさつを申し上げます。
教育部長	(あいさつ)
事務局	それでは、議事に入ります。湖南省立図書館の管理運営に関する規則第 28 条に会議は会長が招集し、議長となると規定しておりますので、会長よろしくお願いします。
議 長 (会長)	皆様こんにちは。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。これから 16 時を目安に議事進行をさせていただきますが、16 時を過ぎるようなことがありましたら会議終了前でも遠慮なくご退席ください。 では、議事に入らせていただきます。1 番目の議事「平成 27 年度 図書館評価の実績報告について」の説明を事務局お願いします。
事務局	[議事 1 図書館評価の実績報告について] 資料No.①事業実績報告に基づき説明
議 長	資料の途中ですが資料(1)の説明まででご意見ご質問などありましたらお願いします。
委 員	⑦市民一人当たりの貸出冊数の平成 27 年度目標値が 9.1 冊なのですが実績では 8.0 冊ですよ？平成 26 年度の実績が 8.1 冊であるのになぜこのような目標にされたのか？市民 1 人あたり 1 冊というのが約 5 万人に換算するとかなりの数値になりますが、なぜこのような数字を目標にされたのか？
事務局	教育振興基本計画で目標値が定まっています、計画策定時からの計画での目標が平成 27 年度目標値が 9.1 冊ですのでそれに準じての設定値となりました。
委 員	私が何が言いたいかと言えば、そもそも目標設定することが間違っているのではないのでしょうか？なんでも右上がりになれば良いということではないと思います。この項目について目標達成率は 87.9%となっていますが、実績でみた場合平成 26 年度の 8.1 冊が平成 27 年度には 8.0 冊で下がってはいるが、逆に 8.2 冊のわずかな上昇でも素晴らしい数字だと思います。教育基本計画で目標値が定まっている目標値だとしても、現状実現不可能な目標であるという意識をもって目標設定しなければ、教育振興基本

	計画の目標が次年度 9.5 冊となっているとすれば絶対達成不可能です。前回の参考資料で図書館の評価を貸出冊数で図るのは無意味ではないかという記事を配布して下さっています。そういう考え方があるのにこういう目標設定をするのは図書館の評価を数字の上で下げることになると思います。
議長	教育振興基本計画の策定年度はいつですか？
事務局	教育振興基本計画の策定は平成 27 年度ですが、その上位計画に市の総合計画があり本目標値については総合計画の目標値にあわせています。その総合計画は平成 26 年度策定です。
議長	今の話で、平成 24 年度の実績が 8.7 冊、平成 25 年度が 8.5 冊。そして平成 26 年度策定の総合計画で平成 27 年度の目標が 9.1 冊だとしてもその当時では実現不可能な無理な数値を目標にしたということではないと思いますがいかがですか？
事務局	すみません今再度確認したのですが、平成 27 年度目標とさせていただいた 9.1 冊という総合計画の最終年度 32 年度の目標値でした。
委員	総合計画や教育振興基本計画は誰が作るのですか？
事務局	総合計画は湖南市のまちの総合計画です。その下位計画として教育振興基本計画も位置づけられ教育委員会で策定したものです。図書館についてはその計画のうちの図書館に関わる施策を検討し実効のための目標をたて目標指標を検討・設定したという運びです。
委員	ということは長期計画を教育委員会として策定され、ここでは図書館の 1 年毎の評価をするということですね？ 長期と 1 年毎の目標は別々のところで決められているということですか？
事務局	教育振興基本計画は教育委員会で策定したのですが図書館も教育委員会の一員ですので当然策定には加わっております。ただ今回の図書館評価については年次ごとですが、計画は 5 年ごと等長期の計画ですので計画策定当時の年次に換算しての目標が、資料②の資料を後ほど説明するつもりでしたがご覧いただくと図書館評価については現実として平成 26、27 年度と実績が下回っていますのでそれを踏まえて本年度の目標は 8.2 冊と目標値を下げさせていただきました。
委員	中長期計画では何かを達成するために図書館の貸出冊数を目標これぐらいを目指そうということで設定されていると思いますが、その何かとはどういうことですか？
事務局	市民の読書推進のために図書館の利用・貸出冊数の目標はこれだけを目指そうということで目標設定していますが、この計画についても実績評価した上で中間見直しということも行われます。
委員	今後 5 年 10 年経っていくと人口動態や財政状況によって中長期的に計画を見直すべきところは見直していかなければと思います。
委員	最終目標年度の目標数値 9.1 冊が平成 27 年度の目標となっているのは誤りではなかったのか？

事務局	誤りであったかどうかは平成26年度の目標設定の段階で考え方を誤っていたのかも しれないのですが、今手元に資料がないので回答できかねますのでそのことについて は改めて確認します。
委員	市民一人当たりの貸出冊数ですがこの場合の市民の数というのは毎年変わっていく のですか？ どういう数ですか？
事務局	毎年の3月末日か4月1日現在の人口によります。
委員	市民一人当たりの貸出冊数を出す意味は？人口変化に伴うということは年間貸出冊 数は同じでも突発的に人口が増えれば市民一人当たりの貸出冊数は減りますよね？ 結果内部評価において③年間貸出冊数は「Ⅰ」であるのに⑦市民一人当たりの貸出冊 数は「Ⅲ」となってしまう、これほど差異がでるのはおかしいのではと思います。
委員	市の図書館は市民の税金で賄われていますが②実質登録率は20.1%です。この数字 は湖南市の自治会加入率は減少を辿る一方で、そういう意味ではこの20%というのは 市民への税金の還元率としては素晴らしい数字ですよ。せっかくですのでこの数字 をもっと他の切り口でアピールされた方が図書館が公共サービスに大変貢献している と知っていただけることになるとと思います。
議長	さきほどの委員のご指摘の市民一人当たりの貸出冊数は大きな市の図書館・小さな 市の図書館の規模に対して年間貸出冊数を比較するのに図書館業界で使われている指 標なのです。
委員	私が言いたかったのはそれがおかしいということではなくて、分母が変化する数を 基準とするのはどうなのかという意味です。そこにある種の係数をかけて例えば10年 間で見ると10年のスパンで何らかの流動があったとしてもより正確な数字が出せるの で良いのではないかという意見です。
議長	去年に対しての比較として貸出冊数は減っているけれど人口も減っているから分 子・分母とも減っているから去年と比べても変わりがないということなのか、逆に貸 出冊数は増えたが人口もふえているからであるとかそういう見方をする資料としては ⑦の指標はおかしくはないと思いますし、分母となるのは毎年毎年の人口だと思いま すが。
委員	まず指標として出すときには分母が同じでないと指標とならないと思います。資料 を見た時にAとBの数値を見て違和感を感じるころがある。それについて話を聞いて みるとたとえば分母が違うとか、それはAには含まれてるがBには含んでいないな ど、資料をパッと見ても資料から読み取れない総合的に判断できないことに違和感 を感じる。今の件についても人口が減ることによって分母が変わることなのになに のような数字を去年と比べてどうだと比較するものではないと思う。ある種の係数 をかけて同じ分母になるようにして出した方がより真実に近い数字で現状把握でき るのではないかと。たとえば人口が増えたのに1人あたりの貸出冊数が減ったとか、 逆に人口が減ったのに貸出冊数が増えたとかそれを理解するのに今の資料だけでは 不足しているのです。他に説明が必要ということです。資料を受け取った人はそう いわれればそうかなと思うしかできない。そういう意味で資料の誠実性に違和感 を感じます。

議 長	<p>もうお一人の委員のご意見ですが、昨年度末に市民への還元額を計算して出されていますので今後それもこの指標の中に1ページ目に入れると良いと思う。</p> <p>それから⑦市民一人当たりの貸出冊数が年次ごとに少しずつではあるが減少している原因分析を図書館で行っておられるのか？職員間で話を出してできれば次回に報告してもらいたい。またこの問題は湖南省だけなのか県内・全国の状況も調べて併せて報告ください。</p>
委 員	<p>2ページの取組内容とその成果の文章を読むと「平成27年度の購入図書冊数の目標値を達成できなかった」「除籍冊数が大幅に少なく蔵書数が増加した」「年間貸出冊数は平成26年度の実績に及ばなかった」とあり、要するに「新しい本が買えなかったから魅力がなくなった」と解釈できますが、図書館の職員は本当にそのように思っておられるのですか？それとも「さまざまな要因がある中でこれもその1要因なんだ」ということなのかを示していただいた方が良いと思います。この文章だけなら「図書の購入費さえあげれば貸出冊数が増えるということなのか」という意味に受け止めてしまいます。</p>
委 員	<p>予算削減の流れの中で、図書館は先ほどの市民への還元率・貢献度的に生き延びてもらいたいということを目指において、達成手段として本協議会を活用してほしいと思います。</p>
事務局	<p>図書館の利用者の年齢構成が高齢になってきており、若年層の利用者は伸び悩んでいるという傾向は見受けられますし、それが貸出冊数にも影響していると思われまます。その層への戦略を検討する必要があるとは考えています。</p> <p>それから取組内容とその成果の購入図書冊数が減ったという点についてですが、前回の会議で合併からの購入費の推移を示してほしいというご意見で本日別資料を配布いたしましたをご覧くださいと確かに合併当初は2700万円の予算から比べると1100万円程減額していますが、平成25年度の予算額1800万円と比べると平成27年度までは予算額は減額されておらず、確かに消費税が5%から8%に上がりましたので図書本体価格が上がったため購入冊数は減少しましたが、だからと言ってそれが直接貸出冊数に影響しているだけとは思えませんので、丁寧に原因分析をする必要があると思います。</p>
議 長	<p>レファレンスについて解析はありますか？件数を時間に変えることによって指標として件数は減っている反面、時間のかかるレファレンスが増えているのか？</p>
事務局	<p>現在は案の段階なのでまだ時間を測っているわけではないです。レファレンスに要する時間というのは質というのですか実際取組んでいないことなので今の段階ではわかりません。</p>
委 員	<p>この図書館評価はなんのためにするのですか？指標を時間に変えるのは「図書館員はこれだけ頑張っている」というアピールをするためですか。逆に専門職である司書が削減され、専門職がレファレンスに手を取られる図書館の苦しい状況をアピールしたいのですか。何のための指標なのか意味が分からないのですが。</p>

委員	私は先週ある作家の作品を調べたかったのですが全集は出るのだが、中身の作品までは検索できなかったのですが、図書館の職員さんなら検索できるのですか？
事務局	お客様の資料検索と同様のシステムですので、同様に検索はできませんが司書の記憶や知識であったり他の検索方法で対応します。
委員	それならレファレンスに力を入れるならそういった資料作りが必要だと思います。利用者も検索の力はあるのだから調べますがそれでもわからないから図書館職員の方に聞きます。しかしながら知っている職員は知っているということではダメで、そういう資料をきちんと準備していれば逆にレファレンスに要する時間は短縮されるということになりますよね？私なんかも人に聞くのではなくまず自分で調べますから、それでもわからなければ聞くそういう人が多いと思いますよ。
議長	<p>今回の案を受け外部評価をしなければならぬのですがこの協議会だけではとても時間が足りないので、昨年度もワーキンググループで別で集まりましたので本年度も昨年度同様にするそこに図書館からも職員方が入っていただくということで進めたいと思います。ついてはワーキンググループに入っただけの方何人かお願いできないでしょうか？</p> <p>(数人ワーキンググループに参加承諾)</p> <p>ではワーキンググループの集まりは別途スケジュール調整することにし、外部評価の案を次回以降の協議会で承認していただくという流れで進めたいと思います。</p> <p>では続いて資料に沿って事務局その他について説明をお願いします。</p>
事務局	続いて説明
委員	<p>朗読ボランティア講座が「未開催」となっていますが、開催予定がないなら未開催というのはおかしいので言葉の精査をされた方が良いと思います。</p> <p>指標は良いと思います。レファレンス件数は先ほどのお話を聞いていて両方ありうるなあと聞いていたのですが、この600という設定数値は妥当なのだろうかと思います。27年度の400という数字の分析を踏まえた上でないと思うのでしょう。それと指標ではありませんが、実利用貸出者数を別表でも良いので世代別に出していくと参考になるかと思います。</p>
部長	このレファレンスと問い合わせ件数は目標値とするものなのかなと思うが、努力して件数を増やせるものでもないのに、実績を評価するのはわかるが目標設定するものではないのでは？
議長	<p>確かににそうですね。では実績の評価にしましょう。</p> <p>あとは他に抜けている項目がないか図書館で他市の情報収集もしてもらって指標を見直していくことが必要なのでそれをお願いします。</p>
委員	さきほどもお伺いしましたが、この指標というのは図書館ががんばっていることを示す目的ですか？ 「これががんばっているけれども、もう限界」と示すのもありなのかなと私は思います。示し方によっては、「やれてるからいいじゃないか」となってしまいうこともあるので、だからこれは何を目的にやっているのかが大事だと思うのです。

議 長	<p>確かに、もう雑巾を絞り切ってしまってこれ以上は無理ということもあるかもしれないですね。そういうことも考えたいと思います。</p> <p>では3のその他について事務局説明をお願いします。</p>
事務局	資料説明③～⑨について説明
議 長	館長には第1回の協議会後の懇親会で新たな図書館について職員の意見・考えをまとめてもらうようお伝えしましたがそれはなさいましたか？
事務局	月末ミーティングの際に職員には伝えましたが、現在それについてのワーキングチームを作られた訳ではありませんが個々の職員の考えは個別に聞いてはいます。
議 長	現状市民が図書館をどのように利用されているか、また新庁舎に複合施設化することによってどのような課題があるか、かつ図書館として譲れる部分と譲れない部分、というのはこれを譲ってしまうと図書館として機能しなくなるということは一番重要なところなので、それは職員の意見を十分聴いてほしいというのが協議会としての総意です。
委 員	資料⑤25 ページ庁舎建設に向けて配慮すべき事項の図書館の部分の3行目「甲西図書館の借地問題のみでなく、甲西・石部2館体制での無駄を検証し、新庁舎建設時にどの程度の規模の図書館とするのか、1館体制とするのか等も含めて検討する必要がある」とありますがこれは図書館が出された意見ですね？これは会議の中での意見ですか？
事務局	これは会議の前に各課にあてての担当課からの調査に応えたものです。
委 員	私たち協議会は湖南市立図書館は1館体制にすると1回も言ったことはないし、前回の協議会でも庁舎建て替えの記事を再度教育長・教育部長に確認した時にも1館にするということではないと言われていたのになぜこのような文章がでるのか？
事務局	決して1館体制を主張しているものではないのですが、実際行革担当の方でも2館あることの妥当性の調査も同時に行われています。その中で年次的その検討内容の進捗状況についても回答しています。
委 員	これは上から言われて書いたのですか？
事務局	そうではなく、現在行革の方の検討課題もあるということも踏まえた上でそういうことの課題もあるという意味で書いております。
委 員	私たちはこれだけを読むと図書館自身が1館にされようとしているように思います。
事務局	そういう思いはありませんが、今後もしかして1館でとなった場合に当然新庁舎に併設の図書館が残ることになりますよね？その場合に石部・甲西2館の機能を果たせる規模のものでないと、機能と規模は保ちたいのでそういう規模の図書館が必要であるということを書いていくためにこのような回答しました。
委 員	ということは、図書館も2館は必要だと考えておられるのですか？

事務局	今、現時点ではそのように考えます。
委員	教育委員会はどうですか？
部長	教育長もそのように考えておられます。
委員	例えばどこかで決まりますよね？政策的なことなら湖南省の図書館は2館を1館にするとか、ポンと出てきますよね例えば石部図書館をなくすとか私の気持ちとしては先日小牧でツタヤの、住民投票で負けて断念されましたがそれぐらいしても良いと思っています。もちろんそんなことはしたくないので、どこかで勝手に決めてポンとでるといようなことは絶対にさげたいと思いました。
議長	ですから、職員の意見を聞いて同意を得てもらいたいと言っていたのです。
事務局	この内容は課内で合議しています。
委員	その内容で通ったのですか？文章の最初に無駄と書いてあるのはダメだと思います。
委員	移動図書館車のことはどのように考えておられますか？
事務局	移動図書館車については、財政課から言われているのは現在の車は平成13年度に購入し3月で16年目を迎えますが新たな移動図書館車の予算要求をしてもそれを認めることはないと言われており、今の車がいつまで維持できるのかということもございますが移動図書館に代わるサービスを検討しなければならないということも前任者からの検討課題となっているところです。
委員	検討しますではなくて館長自身が移動図書館についてどういう仕事かということと言われないのでお伺いしているのですが、高齢化社会でお年寄りが図書館へ行くもの難しくなっていくと思います。将来的に先を見据えてそういう人にも本を届けるために図書館としては新たな車も買う、そのために予算を確保するという気持ちで取り組んでもらいたい。
部長	今の教育長は2館1車体制を守ると考えておられますし、教育委員会部局としてはその方針で動いていますが事務レベルでは、予算要求の際にも「これについて削減・縮小できないか」等様々な宿題をもらいますし、いろんな可能性を調査したり検討しないとダメなのです。
委員	前にこの協議会で意見させていただいたのですが、雑誌スポンサー制度のように移動図書館車の寄付を企業に募れないかと言ったことがあります。
部長	たとえば5月から地域まちづくりセンターでも図書の返却をしてもらえるようになりました、一方移動図書館車も3週に1回の巡回を4週に1回の巡回にすることにより職員の人員に余裕を持たせるとか、一つのことをやることで他のことが改革できるとか両輪ですので、物事一方だけではなく色んな組み合わせをやってみることを考え

	なければならぬのです。
委員	ですからそういう移動図書館車の寄付・基金のようなことも検討してくれと随分前に言ったけれどナシのつぶてなんです。今まで言っても言い放しだったんです。
委員	移動図書館車が古くなってもしかしたら廃車になるかもしれないということは、今はじめて聞いて「ああそうなのかなあ」と思いました。それに代わる代替え案というのは今のところ決まっていないうことですか？検討中ですか？
事務局	はい検討中ですが、5月から地域まちづくりセンターでの返却サービスが始まっていますのでそのサービスを拡大できないかとかそういうことを検討する必要があると考えています。
委員	北山台は移動図書館が自治会館に来るのですが、例えば自治会の協力を得て1月に1回とか図書の貸出・提供を行うとかできるのではないかと思います。昔は草の根文庫で子どもに貸出を行っていたということもあるのでそういう方法もできるかなと思います。
部長	考え方は色々あって移動図書館車は今子ども対象に学校を巡回していますが学校図書館を充実させて子どもは学校図書館で、移動図書館車は地域まちづくりセンターや自治会館を巡回する等。移動図書館車がありきではなくて色んな方法が考えられるということなのです。
議長	それはリミットはいつなのですか？図書館が対案を考えるのはいつまでにしないとイケないのですか？
部長	移動図書館車は民間のバスやトラックと違って走行距離は少ないですが、常に最大重量で走っていますので。
議長	期限はいつなのですか？
事務局	期限ということではなくて故障したら車の更新はないという意味です。
議長	逆に対案をいつまでに考えなければならぬのかという意味で聞いています。
事務局	いつそうなるかわからないので今から検討する必要はあります。
委員	故障しても修理すれば良いですよ。
事務局	もちろん修理はしますが買い替えは難しいという状況です。
委員	財源確保が困難なら企業への寄付依頼を行うとかと思いますが、もしそういうことをするなら誰がすることになるのですか？
事務局	もしそういうことをするなら図書館職員がすることになります。
委員	たとえばクラウドファンディングとか図書館の支援のためなら寄付してくださる方はあると思うのですが大々的に広報すれば。
委員	そんなやり方が公共図書館でできるのですか？
事務局	すみません勉強不足なので調べてみたいと思います。

議長	ふるさと納税でも図書館整備費を選択できるので、そちらの方に使途目的をあげてアピールするという方法も検討してもらいたい。
委員	他にも方法があるかも知れないのでみんなで知恵を絞ってみたら良いと思います。
委員	話を庁舎整備に戻していますが、結局のところ甲西図書館は新庁舎に入ることですか？
事務局	現状では東庁舎と西庁舎を統合して図書館・保健センターも借地料が発生しているので併設し消防署も新設で併設するというのを採用する案になっています。
委員	その案の中では石部図書館はどうするのかという計画は入っていないのですか？
事務局	石部図書館はここには入っていません。ここに入っているのは甲西図書館だけです。
委員	ということは、ここに入る図書館の大きさは甲西図書館相当ということになるのですね？
部長	それは基本設計が来年度からですので、具体的にはそれからです。
議長	それが非常に気になるところで、甲西図書館相当規模のワンフロアになるのか寄り合い所帯で配置されるのか気になるところです。
事務局	調査整備計画策定に向けての庁舎の面積算出において、甲西図書館の図面も参考にされ面積を算出していただいています。会議室や視聴覚室など共有できる部分は統合されますので図書館としては開架室・書庫・事務室等のスペースは算出していただいています。最終的にどうなるかは今の段階では未定です。
部長	それは基本設計に入ってからですので。
議長	それはそうでしょうが、現図書館の展示コーナーがどうなるのか気になります。展示コーナーは司書の方が1月に1回知恵を絞って作られたり、石部には展示スペースがないので郷土の資料や情報発信の場として使っているところが新たな庁舎でどれだけ確保してもらえるのか。
委員	もう一度お伺いしますが、基本設計ができるまでに石部図書館と1館になるのかどうかは決めなくて良いのですか？
事務局	新庁舎になっても石部図書館は新庁舎には入りませんので、まだその議論には行きません。新庁舎ができたなら石部は閉めるということではないので。
部長	石部図書館をどうするのかという議論をすることになるときは石部文化ホールをどうするのかという議論と一緒になると思います。建物が一緒なので。
委員	結論として、建物をどうするかどこに入るかということはここでは決められないということですね？ただ図書館のスペースはこれだけと言われた時にこんな図書館にしろもらいたいというような意見を聞いてもらえる場を設けてほしいと思います。守山市は図書館を建て替えされるのですが協議会のメンバーも入って意見を言える場があったようなので。

部 長	今のご意見は総務部には伝えてありますが、基本設計に入ったときに総務がどういう体制をとるかも今のところ未定です。
委 員	とにかく建ててしまってからこれでやれというのがないようにしていただかないように。
部 長	そういうことは今の時代ないと思います。パブリックコメントで意見聴取もするでしょうし、議会にも特別委員会ができましたので
委 員	図書館でこれだけのスペースをやるので石部と1館体制でやれということにはならないでしょうか？
部 長	建物の規模からしてそれはまずないと思います。この案で建物が約1万㎡で図書館が約2000㎡となっていますので1/5を図書館ということになると図書館のスペースをさらに増やしてということにはならないと思います。
委 員	何階建てになるのですか？
部 長	はっきりと何階とは書いていませんがおそらく4階か5階になると思います。
委 員	市民が意見を言える機会というのは基本設計の前ですか？後になるのでしょうか？
部 長	通常これくらいの大きな建物になりますと基本設計を業者が作ってその業者がそれぞれのヒアリングをやるというのが基本なのでそこで意見は言えると思います。
委 員	それは図書館の館長さんや職員さんへのヒアリングですよね？ 市民に対しては聴いてもらえないのでしょうか？
部 長	そういう機会を設けるのかは総務部サイドの話ですので今はわかりません。ヒアリングは設計業者が意見を聞きますので、学校建設の際に学校側にも意見を聞くのとおなじです。
委 員	図書館については協議会の中でも様々な意見があります。たとえば先ほど議長は展示スペースが必要と言われましたが、私は読書スペースみたいな居住的なスペースがあっても良いと思いますし、喫茶スペースがあるのもいい、子供向けのお話会は共有の集会室で良いのかという意見もあるでしょう。そういういろんな意見を聞いていただける機会があってほしいと思います。
委 員	守山市の図書館が単館とは言え市民の意見を聞いたりして建設されるということで、参考にできるのではと思います。
議 長	あたらしい図書館への要望・意見を入れてもらう箱を設置したりとかもできると思いますよ
委 員	たとえば先ほどの図書館評価もそういうところに行かせるような項目の設定とか考えられるのではないのでしょうか？
議 長	ところで図書館司書の新規採用をしていただくことができるということでありがとうございます
部 長	図書館司書の計画的な採用は後継者を作っていく上で必要で、司書の年代も重なっ

	<p>ていますのであと10年もするとここにいる者がどんどん退職していくという状況です。私が教育部長になってからずっと要望してきたのですがようやく来年度採用していただけることになりました。</p>
委員	<p>試験科目ですが図書館司書の採用試験に一般教養だけというのはどういうことなのでしょう？</p>
部長	<p>それは人事の方で採用試験は担当していますので、面接の中で考えているのかもしれませんが。</p>
議長	<p>保育士と何士？は専門試験があった？</p>
部長	<p>特別支援教育士ですね。それはことばの教室の職員です。</p>
委員	<p>だからその職種だけは専門試験があるようですが、なぜ司書は専門試験がないのか。</p>
議長	<p>実は同じ日に草津市も司書の採用試験があるのですが、なぜ専門試験をおこなわないのか、ある意味恥ずかしいなと思います。図書館に専門の試験を作れる人間がいなかったではちょっと恥ずかしすぎるという話で。</p>
部長	<p>それは人事がどういう試験を考えているのか、私もそこは確認していないのですが。</p>
議長	<p>ホームページを見たらそれぞれの職種の募集要項があって、「専門試験但し図書館司書は専門試験はなし」というのを見て湖南市の図書館には専門の試験を作れる人間がいなかったとそんな恥さらしなことよく書いたなと思って。</p>
部長	<p>特別支援のことばの教室の職員の試験も外部の人が問題を作りますので、職員が試験問題を作るということはありませんので。</p>
議長	<p>それなら司書も専門試験をやれば良いと思います。やはり良い人を採用しようと思ったら。ところで何人受験されたのですか？</p>
事務局	<p>何人受験されたのかは知らされていません。</p>
議長	<p>草津は30人受験されたらしいですよ、草津で30人なら試験日同じ日でしたからうちは何人集まったか今日聞こうと思っていたのですが知らされていないのですか？</p>
部長	<p>それはどの試験でも報告はありません。</p>
事務局	<p>ただ2次試験の面接には私たちも立ち会いますので何人2次試験を受けられるのかはわかりますが。</p>
委員	<p>面接だけで司書としての資質ってわかるのでしょうかね。</p>
議長	<p>まあとにかく新規採用していただけてありがとうございました。</p>
部長	<p>ことばの教室の職員もようやく採用していただけたので、教育委員会で2名も採用していただけたということは本当にありがたいと思っています。</p>
議長	<p>あとは先輩方にしっかり育てていただきたいと思います。では最後の資料について</p>

	説明をお願いします。
事務局	終了時間になっておりますのでご都合のある方はどうぞご退席ください。 (補足資料説明)
委員	お忙しいので資料を確認したり議論したりする時間がないのかもしれませんが、協議会は図書館を大事に思っている者が意見を述べ合う場ですので、その時に正しい資料が出てこないと何を信じたらよいのか、何を話し合うために集まったのかというふうになるので、図書館としてはこれを審議してほしいんだというものをきちんと出してもらいたいと思いますし、それで意見も出てくると思いますのでよろしくをお願いします。
事務局	一次回第3回協議会の案内—

[閉会] (16時30分)